

黒曜石の老婆として
恐れられるシトラリは
たまに現れる酒場でも
ツンとしている

当然誰も声を
かけられる
雰囲気ではないが

とある少年が
いなくなつて
から...

ほな!

ナドいくわ

メンタルは
弱っており

ううう

ナニよ...

意外とノリが
良くなつて
いたのである

ナドの話
オレの家で
もっと聞く?

モンドの
酒もあるし

そのため
異国から来た
この男の誘いに

酔った勢い
もあり流されて
しまったのだ

にやには

やりすぎー

旅人がいない心の
隙間を久々の男女の
関係で埋めることとなった

本当に200歳？
まんこキツキツで
気持ちよすぎ……！

もちろんただ
話すだけで
終わるはずもなく

一度で終わる
はずもなく

こうなった男女が

あーやべ
出すよ……！

どちらが言うでもなく
時間のあるがままに

セックスを
繰り返した

シトラリは
ダメだと思い
つつも

その求めに
応え続け…

あくまで遊び
だからと
避けていたキスも

もはや自分から
求めるほどに
好きになっていた



とうに朝が来る
時間帯まで
やり続けた



結局その日は



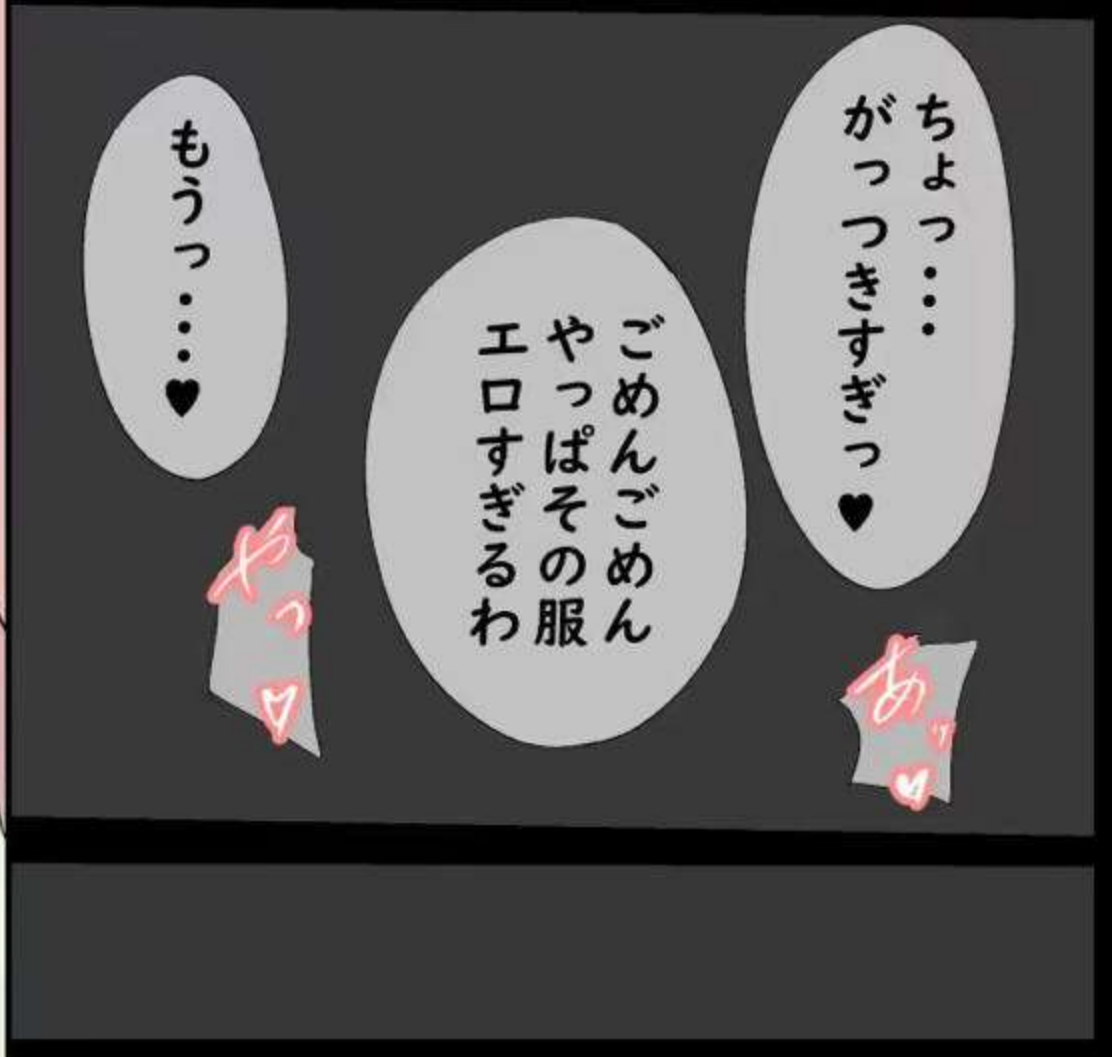
まんざらでも
ないシトラリは

ほぼ毎日
儀式の日であっても
快楽に溺れた



シトラリさん
来たよー

そこから
だらだらと
関係を持ち



ちよっ…
がつつきすぎっ♡

ごめんごめん
やっぱその服
エロすぎるわ

もうっ…♡



だって頭くらくらくらして
キモチいいから...

今ではキスだけで
軽くイク始末で



ね...キス♥

すっかり
キス魔じゃん



身体が跳ねるくらい
イキ狂ってしまう



その後は少し
突かれるだけで

